

ふくだ 福田りえこ

県政レポート

Web:fukuda-rieko.jp



LINE
公式アカウント



Vol.
1

2023.09



謹啓

秋晴の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和5年4月30日から山口県議会議員としての任期が始まりました。山口県議会では、5月臨時会、6月定例会そして委員会ごとの県内調査視察が行われました。

このたび、県政レポートVol.1 2023年9月ができ上がりましたので、お届けさせていただきます。ご高覧いただけましたら幸甚に存じます。

まだまだ慣れない中ですが、皆様からいただいたご負託にお応えできるよう、県勢発展のためしっかりと努めてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

山口県議会議員 福田りえこ



まちおこし、地域活性化のためのイベントを有志の会で新たに企画し、その中で飲食ブースの設置をしたいが、

なかなか許可が出ない...

申請の基準がわかりづらい...



...というご意見を多数頂戴しました。

飲食物の調理・提供を行うためには、原則、法に基づく食品営業許可が必要です。臨時食品営業に該当する場合は、一定の条件の下で、届出営業として認められています。

届出営業が可能な行事や提供できる品目等により決まっております。上記の「臨時食品営業を行う場合の注意事項」をご確認いただき、**周南地域では周南健康福祉センター**へご相談ください!

詳細は上記QRコードまたは **山口県臨時食品営業** で検索!



おおとり保育園

調査 まちかどネウボラに
項目 関する取組

山口県のまちかどネウボラに認定されている施設で、子育て支援拠点と放課後児童クラブも付設されています。親子ふれあい保育の中で、給食の提供もされているのが好評だというお話を伺いました。

委員会活動

令和5年
7/13 木

県内調査視察(山口市)



●「まちかどネウボラ」とは...

地域子育て支援拠点においては、乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を設置し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行っているところです。

(山口県ホームページから)

山口県立 きらら浜自然観察公園

調査 自然環境学習等の
項目 推進に関する取組



かつての阿知須干拓地に生育、育成していた野鳥を中心に多様な生態系を保全されており、様々な環境学習プログラムが実施されています。きらら浜自然観察公園を含む山口湾を国際的に重要な湿地を守るラムサール条約へ登録することを目指し、熱心に活動されているお話を伺うことができました。

山口県婦人教育文化会館 カリエンテ山口

調査 男女共同参画に関する取組



山口市に所在する、県内女性の学習・活動・交流の拠点施設です。ここでは、山口県の婦人教育の歴史や想いについてお聞きすることができました。また施設見学もさせていただき、現状の課題を共有する機会にもなりました。

もっと詳しく Pick Up!

離乳食を全然食べてくれない。
栄養が足りているか不安...

月経前にいつもすごく
ネガティブになってしまう...

妊娠してから
いろんなところが痛い...

授乳できて寝不足。
子供に対してイライラしてしまう。
話を聞いてほしい...



本年5月1日から開始された「産婦人科・小児科オンライン相談」と県立総合医療センターでこれまでも実施されてきている「女性のなやみ相談室」との違いやそのすみ分けについての考え方を質問しています。

産婦人科・小児科 オンライン相談事業

山口県に
お住まいの方限定!

時間や場所の制約なくコミュニケーションをとることのできるSNSの特性を活かして、夜間においても、直接、産婦人科や小児科のドクターからオンラインで医学的な助言を受けられます。

産婦人科
オンライン



小児科
オンライン



★会員登録していただく必要があります。
★会員登録には山口県限定の**合言葉(パスワード)**が必要です。

★合言葉(パスワード)に関して
①各市町保健センターに設置するチラシを確認
②県医療政策課 ☎ 083-933-2961までお問い合わせください。

▲「県HP資料」の出典

問

県立総合医療センターの機能強化の中で、相談事業の強化にも力を入れていただきたいと考えるが、どのようなお考えでしょうか。

答

医療保険課長

今後、基本構想を具体化していく中で、相談対応につきましても、現場のドクターの意見をしっかり丁寧にお聞きしながら充実を図ってまいりたいと考えております。

県立総合医療センター 女性のなやみ相談室

妊娠に関する相談をはじめ、女性の健康に関する幅広い分野の悩みに対し、平日の昼間の時間で、電話、メール、面談により相談対応が行われています。

女性の
なやみ相談室



★相談専用電話 ☎ 0835-22-8803

●相談日時:(祝日・年末年始を除く)
毎日/9:30~16:00
第1・3月曜日/14:00~16:00
随時/14:00~16:00

●相談方法:
電話
Eメール
面接(要予約)

●対応者:保健師・助産師・看護師・公認心理師・産婦人科医師

▲「県立総合医療センターHP」出典

福田りえこ 事務所

〒745-0017
山口県周南市新町1丁目43-1 飯田ビル1F
Web:fukuda-rieko.jp
E-mail:rieko.fukuda0417@gmail.com

TEL.050-5832-4345
FAX.0834-22-5670



公式
Webサイト



LINE
公式アカウント



令和5年
6/29^木
一般質問

女性の健康

①フェムテック・フェムケアの推進について

KRY山口放送の夕方のニュース「NEWS LIVE」で放送されました！

映像配信は
こちらから



こども政策

②こどもまんなか社会の実現について

- (1)こども政策決定過程における子供の意見反映について
- (2)1人1台端末を活用したこどもSOS発信について

D X ・ G X

③デジタルインフラについて

- (1)データセンターの県内立地について
- (2)エッジデータセンターの整備促進について
- (3)グリーンデータセンターについて

yab山口朝日放送の夕方のニュースで放送されました！



①フェムテック・フェムケアの推進

問

フェムテックとは？

Female (女性) × Technology (テクノロジー)
||
Femtech (フェムテック)

女性特有の健康課題をテクノロジーの力で解決するための製品・サービスのこと

背景

18歳から49歳までの働く女性の94%は月経関連の症状で仕事のパフォーマンスに影響があると回答し、年間労働損失は4,911億円という調査結果あり(経済産業省より)。

目的

- *人口減少の克服につながる
- *労働損失を防ぎ業績向上につながる
- *新たな市場創出による需要拡大が図られる
- *つらい、痛い、我慢すればよいという気持ちを解消したい

解決策の提案

本県においてもフェムテック・フェムケアの啓発や具体的な導入支援を進めていただきたい。

答

産業労働部長

人口減少が進行する本県において、企業が人材を確保し、持続的に成長・発展するためには、就労の場において女性が持てる力を十分に発揮し、活躍し続けられるよう、働きやすい職場環境づくりを進めていくことが重要です。こうした中、働く女性の月経、妊娠・出産、更年期等、女性特有のライフイベントに起因する望まない離職等の課題が顕在化しており、その解決策として、女性特有の健康問題をサポートするツールであるフェムテックの活用が期待されています。

県としては、さらなる女性の活躍促進に向け、フェムテック・フェムケアの啓発や導入支援等必要な取組について検討を進めてまいります。



問

(1)こども政策決定過程における子供の意見反映について

令和5年4月1日にこども基本法が施行されるとともに、こども家庭庁が設置された。こども基本法においては、基本理念として、全ての子供について、年齢や発達 の程度に応じた子供の意見の尊重が掲げられるとともに、こども施策の策定等に当たって、子供の意見の反映に係る措置を講ずることとされている。

こどもまんなか社会を実現するために、県としては、どのように子供たちからの意見を取り入れ、また、県の取り組みを子供たちにしっかり伝えるにあたり、どう取り組んでいくのか、伺う。

「こども若者★いけんぷらす」とは？

こどもや若者が様々な方法で自分の意見を表明し、社会に参加することができる、こども家庭庁の新しい取組です。



行う目的は？

●こども・若者のみなさんが、政策に対して意見を伝えて、政策を決めるプロセスに主体的に参画する機会・場を得ること。

●政府が、こども・若者のみなさんの意見を広く聴いて、制度や政策に反映し、制度や政策をより良くすること。

●社会全体にこの取組を広く発信することで、こども・若者の意見を聴くことの大切さについての理解をひろげること。



詳しくはこちら

こども家庭庁



問

(2)1人1台端末を活用したこどもSOS発信について

子供たちのSOSの声を拾いやすくする環境づくりに力をいれていただきたい。本県においても、様々なこども相談事業が実施されているが、例えばその総括となるアイコンを作成し、1人1台端末のホーム画面からアクセスできるなど、端末を活用して子供たちのSOSをより発信・受信できる環境づくりができないか。

「悩み連絡室@やまぐち」について

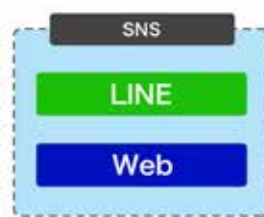


チャットで悩みを相談したい

相談

学校へ連絡をして欲しい

連絡



答

副教育長

県教委では、子供たちが24時間いつでも様々な悩みについて相談できるよう、LINEなどのSNSを活用した相談窓口として「悩み連絡室@やまぐち」を設置している。引き続き「悩み連絡室@やまぐち」の利用を働きかけるとともに、お示しのような総括となるアイコンなども参考にしながら、1人1台タブレット端末の活用による、子供たちが相談しやすい環境づくりに努めてまいります。



電話窓口はこちら▼

「24時間子どもSOSダイヤル」
0120-0-78310(全国共通)
通話料無料24時間受付
「ふれあい総合テレホン」
083-987-1240
月～金 8:30～17:15
(祝日・年末年始除く)

※「悩み連絡室@やまぐち」についてのサイトより。

③デジタルインフラについて

問

データセンターは、デジタル社会の推進に必要な不可欠なものであり、本県における多様な産業の集積、持続的な発展、地域経済の活性化に資するものと認識している。

①今後のデジタル社会を見据えて、データセンターの県内への立地について見解を伺う。

②ユーザーの近くに設置する小規模のエッジデータセンターは、幅広い分野での活用が考えられ、その普及はスマートシティの推進に影響する。エッジデータセンターの整備促進に向けて企業立地のメニューは活用できるのか、見解を伺う。

③グリーンとデジタルを推進するグリーンデータセンターは、データ処理に必要な電力消費量も増大する予測の中で、省エネ化、高性能化、再エネ化を実現していく取組である。本県は優れた立地環境・工業用水や安定した電力供給といった産業インフラも企業誘致の強みとなっていることから、水力発電を活かしたデータセンターの可能性も考えられる。本県のグリーンデータセンターの誘致は検討できないか所見を伺う。

答

産業労働部長

デジタル化の進展によるデータ通信量の拡大に伴い、データの蓄積や処理を行うデータセンターは必要不可欠な施設となり、自動運転や遠隔医療等の社会実装が見込まれる中、今後も、その需要が高まるものと考えています。県では、市町等との連携の下、リスク分散の適地である本県の優れた立地環境を活かしながら、県内での設置検討を行う企業へ事業用地やインフラ基盤の情報提供を行うなど、その誘致に取り組んでいます。

さらに、地方での立地に向けては、その地域でのデータ需要の確保も重要であることから、IoTの導入促進やデジタル技術を活用した新サービスの創出、IT企業の誘致などのデジタル化の取組によりデータ需要の創出を図っているところです。

また、社会全体で脱炭素化が進展していることから、データセンターにおいても再エネの活用が求められており、お示しのグリーンデータセンターの需要は、今後益々、高まっていくものと考えています。県としては、エッジデータセンターも含めたデータセンターの立地に向け、引き続き、市町や関係機関と連携しながら、誘致の推進に取り組んでまいります。



※やまぐち未来維新プランより。